

# News Letter

世界に賛美と福音を

工藤篤子ワークショップ・ミニストリーズ

<http://akworship.com/>

Vol.78

SUMMER  
2020



AKWM

(旧、工藤篤子音楽ミニストリーズ)

## 賛美の誓い

工藤篤子ワークショップ・ミニストリーズ 代表

工藤 篤子

こうして 私はあなたの御名を とこしえまでもほめ歌い  
日ごとに 私の誓いを果たします。

(詩篇 61 篇 8 節)



2年前の帰国では、31年間暮らしてきたドイツを引き払う準備、帰国後は、住居・事務局の移転、実家の新築、それに伴う2度の引越しと、実にあわただしい日々が続きました。「もっと祈りなさい」という主からの語りかけを聞いたのは、帰国後数か月経った、一昨年秋のことです。ハッとさせられ、それからほとんど忙しくて、一日最低一時間を祈りに取り分けることにしました。ところが、昨年の終わり頃から、その祈りの多くを賛美が占めるようになりました。祈り始めると次第に賛美が溢れ出し、詩篇を朗読してもよくメロディーが伴い、とりなしの祈りも、いつもではありませんが、歌になるのです。

その2か月後、新型コロナウイルス・パンデミックが始まり、当面のコンサートは全てキャンセルになりました。けれども、主のご臨在を求めるために、今こそもっとも神を賛美する時ではないかと思われ、毎日家で、大きな声で歌うようになりました。とりなしの祈りさえ時に歌になるのも、今はまだ見えずとも、すでに神はその祈りを聞き入れ、解決を用意してくださっていることに対し、私の内の聖霊が、感謝を歌い、神の素晴らしさをほめたたえているのだと思うようになりました。

### ● 賛美の誓い

冒頭の詩篇の箇所では、ダビデが、神に「賛美の誓い」を立てたことが分かります。詩篇 61 篇は、息子アブサロムがダビデに対して謀反を企てたときに歌われたものだと思います。苦難に遭遇し、ダビデは心が衰え果て、地の果て(どん底状態)に追いやられてしまいました。そこで彼は、神がそこから高い岩の上に引き上げ、神の幕屋に住ませ、御翼の陰に守ってくださるなら、日ごとにあなたに賛美をささげますという誓いを立てるの

です。神はその誓いを聞き入れ、御名を恐れる者の受け継ぐ地をダビデに与えてくださいました。

戦いと多くの苦難を辿ったダビデは、神を賛美するところではないような日もあったことでしょう。けれども、ダビデが歌った多くの詩篇から、彼は神への誓いを果たすため、どのような時にも神を賛美したことが分かります。その日ごとの賛美のいけにえを神は受け取ってくださり、ダビデの王位を揺るがぬものとし、ダビデの後継ぎとして来られるメシアとその王国を確かなものとしてくださいました。

私たちも、今こそ、ダビデのように、「賛美の誓い」、日ごとに神をほめたたえる誓いを立てるときではないでしょうか。主は、イスラエルの賛美の上に座してくださいます。私たちが賛美する時、主がそこにご臨在くださるのです。もし家で大きな声を出すのが難しいなら小さな声で、声が出せないなら、沈黙の賛美でもよいのです。ドイツ語のエルバーフェルダール訳の詩篇 65 篇 1 節では、「沈黙してあなたに賛美をささげます。おお神よ、シオンにおられる方。そうして、あなたに誓いが果たされるでしょう」とあります。主は、私たちの心の声、心からの賛美を聞かれます。

中ページには、17世紀の三十年戦争を生き延びたマルティン・リンカルトのことを書かせていただきました。彼は指輪に MVSICA (ムジカ、ドイツ語で「私の頼みはキリストにのみある」の頭文字) と彫り、それを生涯の生き方としました。私たちも、ただキリストにのみより頼み、すべてを神に感謝し、互いに励まし合いながら、キリストの王国(メシア王国、千年王国)を目指して、主の道を、賛(うた) ひとつ歩んで行こうではありませんか。

# テ・デウム

## —「感謝にみちて」(教会福音讃美歌237)—

留学先のスペインで信仰を持ったばかりの頃、パンプローナ市の大聖堂で、ブルックナー作曲のオラトリオ「テ・デウム Te Deum」の、ソプラノ・ソロを歌わせていただいたことがありました。まだ聖書を読み始めて日も浅く、賛美も全く知らなかった私にとって、この曲は、私の最初の賛美曲になりました。レコードに挿入されていたスペイン語対訳から、辞書を引きつつ日本語に訳し、神の臨在に触れ、心震わせながら練習を積み重ねたことを覚えています。

「テ・デウム Te Deum」とは、ラテン語の賛歌テキストの「Te Deum laudamus, te Dominum confitemur」(われらの神なる主をたたえん)による名称です。初代教会の最初の聖歌のひとつと言われ、また、387年、アンブロジウス(Ambrosius 340?-397)が愛弟子アウグスティヌス(Aurelius Augustinus 354-430)に洗礼を授ける際に即興で作ったとも言われています。その後、西方教会、東方教会を始め、欧州各国の原語に訳されて歌われるようになり、バロック以降は、ブルックナーのほか、パーセル、ヘンデル、ベルリオーズ、ヴェルディなども、管弦楽、合唱、ソリストによる雄大なオラトリオ「テ・デウム」を作曲しました。

### 「感謝にみちて」とリンカルト

私たちの教会で歌われている賛美歌の中にも多くのテ・デウムがあります。そのひとつが、「ドイツのテ・デウム」と呼ばれる Nun danket alle Gott(すべてを神に感謝しよう)、日本語では、「感謝にみちて」教会福音讃美歌237、讃美歌21 11、「いざもろとも声たからかに」聖歌291、「いざやともに」讃美歌2です。

Nun danket alle Gott を作詞作曲したマルティン・リンカルト(Martin Rinckart 1586-1649)は、1586年、ライプツィヒ北東のアイレンブルクで生まれました。父は桶職人で、豊かではありませんでしたが、夕べには、父が弾く楽器に合わせて歌を歌う音楽的な家庭に育ったようです。そのせいか、彼は小さい頃から音楽の才能を発揮し、ライプツィヒ大学では神学を学びました。その後、いくつかの教会で、カントール(教会音楽師)、副牧師、牧師を務め、1613年に結婚、1615年には桂冠詩人の栄誉も与えられました。

リンカルト31歳の1617年、アイレンブルクのニコライ教会の牧師として帰郷することになりました。三十年戦争(1618-1648)が始まったのは、その翌年のことです。城壁に囲まれたアイレンブルクには、皇帝軍、ザクセン軍、スウェーデン軍が入り替わり立ち替わり駐留するようになりました。町の人口以上の兵士に占拠され、食糧庫はあつと云う間に底を尽き、略奪、暴行が横行し、町は混乱状態に陥りました。そのような中でも、リンカルトは説教を語り続けました。

戦争で衛生状態が劣悪になったドイツではペストも蔓延しました。その中でも1637年のペストは激しいもので、リンカルトもこの年最初の妻を亡くし、毎日40～50人(合計4480人)を葬る日々が続きました。ペストの後には飢餓が襲来し、犬猫や路上で死んだカラスを40人以上の人が奪い合うような有様でした。リンカルトは、家族のいのちをつなぐためのわずかな食料を残し、パンを焼いて困窮する人々に分け与えました。

そのような極限状態のときに、スウェーデン軍が町に3万ターレル(当時の1ターレルは日本円の2～3万)を課し、払え

このニュースレターは、次の方々のご支援をいただいています。

**VIP関西センター  
テナント募集**



7F19坪 5F30坪 地下鉄北浜駅  
②号出口正面

〒541-0041 大阪市中央区北浜2-3-10  
TEL.06-6232-1185 担当者:梅津

オフィス家具全般

**(有)吉屋**

〒558-0014  
大阪府大阪市  
住吉区我孫子5-4-13  
TEL 06-6699-2415

ミクニカイ株式会社  
水とエネルギー

本社 〒532-0033  
大阪市淀川区新高3丁目7番9号  
TEL(06)6394-0671  
FAX(06)6394-0710  
E-mail:sakamotot@mikunikikai.com  
URL:http://www.mikunikikai.com

atelier  
**phos**  
DESIGN<=>WORK



教会や少人数グループでの  
イスラエルツアーを  
計画しませんか

ご予算や人数に応じて、ご要望にお応えできる聖地旅行を企画、見積もりいたします。充実、お手頃価格、手作りのツアーをなさいませんか。  
お気軽にご相談ください。

**(株)ホーリーランド  
ツーリストセンター**

担当:石田  
TEL:06-6226-1307  
FAX:06-6226-1308  
E-mail:office@htcjrm.com

お知らせ

「賛美セミナー」開催をご希望、あるいはご検討くださる教会・団体がありましたら、お気軽に事務局まで、ご連絡、ご相談ください。



なければ町を焼き払うと言って来たのです。リンカルトは単身で將軍のもとへ赴き、慈悲を懇願しますが、拒否されました。リンカルトは町の人々に向かって、「来なさい、愛する子たちよ。私はあの人たちに、聞く耳もあわれみも見出すことができなかった。さあ、今、神の助けを求めようではないか」と言って教会へ行き、町民とともに祈りました。それは、何時間も何日も主の前にひざまずき、ひれ伏して、泣き叫ぶ祈りだったに違いありません。あわれみの主はその祈りに応えてくださいました。主は冷酷なスウェーデン人将校の心を動かし、町の身代金は8000ターレルに減額されたのです。それでも、町と教会の銀具などすべての財産をもって支払っても足りず、リンカルトは先の報酬を返済に充てることを約束しました。そのような激動の中で、彼はNun danket alle Gott(すべてを神に感謝しよう)を詠ったのです。

## すべてを神に感謝しよう

Martin Rinckart

「感謝にみちて」福讃 237、讃 21 11、  
「いざもろとも声たからかに」聖 291、「いざやともに」讃 2

### 1. さあ、すべてを神に感謝しよう

心と口と両の手をもって  
神は大いなるみわざを成してくださる  
私たちと地上のすべての者たちに  
神は私たちが母の胎にあった時、幼い時から  
今日まで数え切れない恵みを与えて下さった

### 2. 永遠に富みたもう神は、私たちの人生に

いつも喜びの心と尊い平和を与えて下さる  
私たちをあなたの恵みの中に絶えず守り  
すべての苦難から私たちを救ってくださる  
私たちがいつどこにしようとも

### 3. 賛美と栄光と誉れが神にあるように

父と子と、同じく聖霊に  
いと高き天の御座におられる方、三位一体の神に  
初めにあり、今もあり、これからもおられる方に  
今よりとこしえまであるように

(原詩からの私訳)



ニコライ教会の壁に掲げられたリンカルトの記念碑

## 私の頼みはキリストにのみある

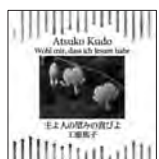
信仰者の真価が試されるのは試練のときです。そのとき、私たちはどこに、誰に頼みを置かか、歩みが変わって行きます。リンカルトの指輪には、MVSICA(ムジカ=音楽)という文字が彫られていました。これこそ、リンカルトのモットー、“**Mein Vertrauen steht in Christo allein**”(私の頼みはキリストにのみある)であったのです。それだからこそ、どのようなときも、すべてを神に感謝し、神の愛と力によって人々を助け、将校に直談判する勇気を与えられ、叫び祈り、賛美し、30年の想像を絶するときを、イエスさまと共に渡り切ることができたのでしょ

う。私たちが今、新型コロナによって、ひとつの試練を通らされています。けれども、多分これはまだ序の口で、これからもっと大きな試練がやって来ることでしょう。そのひとつひとつに耐えることができるように、今の試みを、ただキリストのみを頼みとし、感謝と賛美とみことばと祈りをもって乗り越え、火で精錬されながら、次の試練と天の御国に備えさせていただこうではありませんか。

試練で試されたあなたがたの信仰は、火で精錬されてもなお朽ちていく金よりも高価であり、イエス・キリストが現れるとき、称賛と栄光と誉れをもたらし

ます。(Iペテロ1:7)

## 工藤 篤子 著書&賛美CD 好評発売中 … ご注文、お問い合わせはAKWM事務局まで



主よ人の望みの喜びよ  
定価 2,500円(税込)



よき力に守られて  
定価 2,500円(税込)



ほんとうの願い  
定価 3,000円(税込)



神だけが  
定価 2,500円(税込)



カンシオン  
定価 2,500円(税込)



Come To Me  
定価 3,000円(税込)



讃美 Adorar  
定価 1,500円(税込)



賛美のこころ  
定価 1,600円(税込) (注※)



賛美セミナー II  
DVD 2枚組

'15年11月7日大阪セミナー録画  
定価 4,000円(税込)

賛美セミナー I  
DVD 2枚組

'13年11月4日大阪セミナー録画  
定価 4,000円(税込)

賛美セミナー I  
CD 4枚組

'13年11月9日東京セミナー録音  
定価 4,000円(税込)

賛美セミナーIIと賛美セミナーIのアイテムを合わせてご注文される場合、特別価格でお求めいただけます。その際は、オンラインストアではなく、メール、電話、ファックスでお申し込みください。

注※「賛美のこころ」について...AKWMの在庫は完売しました。ご希望の方は、キリスト教書店または出版社イーグレープよりお求めください。



# Schedule

## 工藤篤子 2020年スケジュール

10月	11月	12月
18日(日)	29日(日)	13日(日)
25日(日)		20日(日)
川崎ホーリネス教会 賛美コンサート	チャペル・こひつじ チャペル・コンサート(大阪)	仙台グレースチャペル チャペル・コンサート
宝塚栄光教会 チャペル・コンサート		主イエス・キリスト教会 クリスマス会(大阪)



### 愛する皆様へ

主の御名をほめたたえます。  
お元気でいらっしゃいますか？



AKWMのためのご支援とお祈りを心から感謝いたします。

3.11以来、今までにはなかった、驚くような災害・事象が続くようになりました。患難期とそれに続く神の国が近いことを肌で感じるようになり、「私たちが天の国に入るには、多くの苦難を経なければならぬ」というメッセージも耳にするようになりました。そのような中で、新型コロナウイルスの感染が始まりました。この感染がもたらす、経済的、社会的な影響は計り知れないものになって行くことでしょう。しかし、私たちは、どのような時にも主から目を離さず、イエス・キリストの十字架の贖いを通して、神は、ご自分に従う者たちに全ての必要を与えてくださること、その御翼の陰に守り、導いてくださることを信じる信仰に立って、明日に備えて行かなければならないと思います。



そのために、日ごとに神に感謝と賛美をささげ、祭司として熱心にとりなし、また、みことばの悟り(知恵・知識)を得て行く大切さを覚えました。それで、5月は大阪で祈りとみことばに集中しました。この間、申命記と詩篇119篇を読み合わせることを通して、「みことばは、私の上あごに蜜のように甘い」という感動的な体験をし、また多くの素晴らしい学びがありました。今月(6月)は、札幌の実家に滞在しています。家の事が多くありますが、時間を調整しながら、みことばと共に、感謝な日々を過ごしています。7月は半月ほど大阪に滞在し、再び祈りとみことばに集中、その後、7月下旬から9月上旬まで札幌で過ごす予定です。

イエスさまご自身であるみことばを通して、イエスさまの心と一つとされ、キリストの御姿に造り変えられて行くことを心から願っています。今与えられているこの時を、大切に過ごさせていただきたいと思っています。

皆さまに、主の豊かな祝福と守りがありますように！

主にありて 工藤 篤子



工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ 事務局  
Atsuko Kudo Worship Ministries

AKWMの伝道活動は、皆様のお祈りと献金と奉仕によって成り立っています。ご支援くださる皆様をこの活動の一員と考えています。この活動がますます主に用いられ、宣教が進みますように、どうぞ一員としてご参加、ご支援ください。

住所が変わりました

〒590-0027 大阪府堺市堺区榎元町5丁5番9号  
TEL.090-5241-5086 FAX.050-3153-0648

郵便振替口座 00930-1-165955 「工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ」  
銀行振込口座 三菱UFJ銀行 瓦町支店(店番003)  
普通預金0133752 「工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ」

※三菱UFJ銀行にお振り込みくださる場合はお名前の表示をお願いいたします。あるいは事務局にご連絡いただけますなら感謝です。

✉ メールマガジン登録受付中！

[office@akworship.com](mailto:office@akworship.com)

メルマガ購読を希望される方や、その他のご連絡などは、上記のメールアドレスまでお願いします。メールマガジン、ニュースレターは、下記のホームページでもご覧いただけます。



Website URL  
<http://akworship.com/>